

# もの忘れ?? サポートガイドブック

今帰仁村認知症ケアパス

認知症の進行に合わせて、その段階ごとに適切な支援やサービスがあります。認知症ケアパスは認知症の進行に応じて「いつ」「どこで」「どのような」医療や介護などのサービスが受けられるのか、生活のサポートにつながる情報を載せています。ご自分やご家族など、身近にいる大切な人のために、どうぞ手にお取りください。ご相談など、いつでもご連絡をお待ちしています。



## 認知症とはどんな病気？

認知症とは、記憶障害に加え、判断力が不適切になり、段取りをつけて物事を進めることができない状態を言います。(意識障害はない状態)このような状態のために、日常生活には手助けが必要となってきます。

お財布がない。  
アレは…どこに??

何度も繰り返し  
同じことを聞く。

「頭が変になった」と言ったり  
何度も確かめるなど、  
不安が強くなる。

身だしなみを  
整えなくなった、  
意欲がなく、  
ふさがち…。



### 認知症の種類

- アルツハイマー型認知症
- 血管性認知症
- レビー小体型認知症
- 前頭側頭型認知症
- その他

認知症のような症状がみられるが、  
治療により治る可能性がある病気

- 甲状腺機能低下症
- 慢性硬膜下血腫
- 正常圧水頭症
- ビタミン欠乏
- その他



今帰仁村地域包括支援センター

今帰仁村役場 福祉保健課内

〒905-0492 今帰仁村字仲宗根219

TEL:0980-51-5744 / FAX:0980-56-4270



## 認知症の段階

### 軽度認知障害 (MCI)

P4へ

もの忘れはあるが、日常生活には支障がない

### (初期) 認知症

P5へ

もの忘れがあり、できなくなることが増えてくるが、サポートがあれば日常生活は自立できる

## 本人の様子

- 物忘れが多くなる
- 片付けが苦手になる
- 火の消し忘れがある
- 探し物が多くなる
- 出かけるのが面倒くさくなる
- 約束を忘れてしまうことがある
- うつ症状がでてくる

- 同じことを何度も繰り返し言ったり聞いたりする
- 置き忘れが増える
- 水道の閉め忘れ、鍋焦がしなどが見られる
- 日にち、曜日、季節などが分からなくなる

## 本人と家族の対応のポイント

- 早めに地域包括支援センターへの相談や専門医受診を検討しましょう。
- 予防に取り組むことで認知機能が改善する可能性があります。
- 趣味や社会参加で人との交流を図りましょう。
- 生活習慣病をきちんと管理しましょう。
- バランスのとれた食生活をしましょう。
- 預貯金や書類の整理をしておきましょう。

- 同じことを聞かれてもきちんと返答しましょう。
- できることを続け、苦手なことは手伝ってもらいましょう。
- 地域にある介護サービスなどの情報を聞いたり相談したり、本人らしく過ごせるよう準備を始めましょう。
- できるだけ本人の意思を汲み取り、尊重しましょう。
- 家族だけで抱え込まず、地域や関係機関の協力者や相談先を増やしましょう。



## 地域の支援やサービス



### 見守る・支える

- 結ネットワーク(社協)
- 各公民館
- 各字民生委員
- 認知症の人と家族の会
- 通いの場
- 緊急通報システム
- 認知症サポーター養成講座
- 認知症キャラバンメイト

### TOPICS

村では、認知症の基礎知識を学び、認知症の人や家族を見守る地域の応援者「認知症サポーター」を養成するための講座を開催しています。キャラバンメイトさんは、養成講座を開催する講師を担ってくれる専門家です。

## (中等度) 認知症

P6へ

常に介護や見守りなどが必要になってくる

- 着替えや入浴が苦手になる
- 季節に合った服が着られない
- 使い慣れた道具が使えなくなる
- 道に迷うことがある
- 妄想的な発言が聞かれる
- 家族を他人と間違えることがある

- 責めたり否定したりせず、できることを大切にしましょう。
- 介護疲れも出てきます。人の助けを借りましょう。
- 介護を受けることが多くなるので、介護や医療のサービスなど、制度を上手に活用しましょう。
- 困ったことは抱え込まずにケアマネジャーや地域包括支援センターへ相談しましょう。

## (重度) 認知症

P7へ

常に専門医療や介護が必要になる

- 着替えや食事、トイレ、歩行がうまくできない
- 車イスやベットで過ごすことが長くなる
- 言葉が少なくなる、言葉でのコミュニケーションが難しくなる

- 本人ではできないことが増えていきます。アイコンタクトやスキンシップなどでもコミュニケーションを図っていきましょう。
- 安心できる環境を作ってあげましょう。
- 専門の医療や介護のアドバイスを受けながら、時間を大事に過ごしましょう。
- 終末期の迎え方を家族間で話し合っておきましょう。

## つながる・相談する

### 村内

- 今帰仁村地域包括支援センター
- 今帰仁村内居宅介護支援事業所
- なんでも相談会

### 北部内

- 認知症初期集中支援チーム
- 宮里病院認知症疾患医療センター
- かかりつけ医
- 認知症の人と家族の会（北部なごみの会）

### 県内

- 沖縄県若年性認知症支援推進事業
- 若年性認知症コールセンター

## 活用する

- 介護保険制度（認知症デイサービス・訪問看護・訪問介護等）
- 認知症高齢者等SOSネットワーク
- 障害者自立支援医療（通院・認知症デイケア・訪問看護）
- 配食サービス
- 運転免許返納相談
- 日常生活自立支援事業
- 成年後見人制度

### TOPICS

判断力を失った場合、本人名義の預貯金や不動産などの財産を動かせなくなる可能性もあります。事前に対応法を家族で話し合ったり、専門職に相談しましょう。

# — 軽度認知障害 (MCI) の時期 —

## いつ? こんな症状が出てきたら

ご本人は「なんだかおかしいな」と自覚し始め、不安や混乱が起きはじめます。しかし、「自分はおかしくない」と思いたい気持ちが強く、周りからの指摘には否定的になりがちです。

- 約束を忘れることがある
- 物忘れが多くなるが、生活は自立している
- 外出や人付き合いがおっくうになる
- 趣味やテレビ番組に興味を示さなくなる
- 運転時にミスが増えた、車に傷が増えた
- たまに薬の飲み忘れがある
- よく探し物をするようになる
- 食事の内容を忘れることがある
- 怒りっぽくなった
- 動作や会話が遅くなったり反応が薄い



## 対応 本人も周りの人も

認知症はいきなり発症するわけではありません。この時期は一歩手前の認知症予備軍です。予防に取り組むことで認知機能が改善する可能性があります。早めに予防に取り組みましょう。

- 年齢のせいにはせず、早めにかかりつけ医や家族、地域包括支援センターなどに相談しましょう。
- 低栄養は認知症のリスクを高めてしまいます。バランスよくしっかり食事を摂りましょう。
- 食事や会話の安定や、感染症予防のために歯みがきやお口の体操、歯科受診を行ないましょう。
- 本人からの相談は気持ちを汲み取り、否定せず、不安に寄り添いましょう。
- ミスがあっても責めることはせず、本人が困らないように環境を工夫してあげましょう。
- 忘れても対応できるようなグッズも活用しましょう。(Siセンサー、IH、お薬カレンダーなど)
- 自分がどう生活を送っていきたいのかを家族や身近な人と話し合っておきましょう。(P5「命しるべ」が参考になります。ご活用ください。)
- 自分の状態について、家族や身近な方へ伝え、理解者や協力者を増やしていきましょう。



## どこで?どんな? こんなサービスがあります

まだまだ自分でできることが多くあります。難しくなってきたことなどは、早めにサービスを利用しましょう。今すぐ利用しなくても早めに調べておくことで、今後の生活がスムーズになります。

相談	地域包括支援センター・かかりつけ医・なんでも相談	—————	P10~11相談先一覧へ
受診	精神科医療機関(認知症専門医がいます)	—————	P10~11相談先一覧へ
健康管理	各種健康診断	—————	村保健センター、かかりつけ医へ
社会参加	各公民館でのミニデイサービス、老人会、ゆいまーる事業等	—	各公民館へ
介護予防事業	貯筋・水中運動、脳活デイ、生き生きデイ	—————	地域包括支援センターへ
食事	「食」の自立支援事業、地域の配食サービス	—————	地域包括支援センターへ
住まい	住宅改修、福祉用具購入・レンタル	—————	地域包括支援センター、居宅介護支援事業所へ
家族支援	認知症の人と家族の会、認知症疾患医療センター	—————	P10~11相談先一覧へ
その他	免許返納	—————	運転免許センター、本部警察署

# — 認知症初期の時期 —

## いつ? こんな症状が出てきたら

軽い症状はあっても見守りがあれば日常生活は自立しています。ミスが多くなっていくことで、意欲や自信が減退します。責めるのではなく、落ち込みや不安を和らげるような声掛けが必要です。

- 同じことを繰り返し何度も聞く
- 水道の出しっぱなしや鍋焦がしが見られる
- 料理や買い物スムーズにできなくなる
- 探し物が増える
- 日にちや曜日がわからなくなる
- 感情の起伏が激しくなる



## 対応 本人も周りの人も

同じことを何度聞かれてもきちんと返答しましょう。本人ができないところを周囲が支援しましょう。

- この時期には介護サービスの利用開始を検討しましょう。
- かかりつけ医に相談し、適切な診断や治療を受けましょう。
- 本人の戸惑いや不安を見守り、できることを認めてあげましょう。
- 今後の生活を家族や身近な人と話し合っておきましょう。  
(次頁「命しるべ」が参考になります。ご活用ください)
- 自分の状態について、家族や身近な方へ伝え、理解者や協力者を増やしていきましょう。



## どこで?どんな? こんなサービスがあります

いつ、どこで、なにをしたか、出来事を忘れるようになってきます。家事全般や着替え、入浴など、身の回りの事にも支援が必要になってきますので、早めに受診・相談・利用につながりましょう。

相談	地域包括支援センター・かかりつけ医・なんでも相談	———— P10~11相談先へ
受診	精神科医療機関(認知症専門医がいます)	———— P10~11相談先へ
介護サービス	地域包括支援センター、居宅介護支援事業所	———— P10~11相談先へ
	★通う・・・ デイサービス、通所リハビリ、認知症デイサービス	
	★泊る・・・ ショートステイ	
	★訪問・・・ 訪問ヘルパー、訪問看護、訪問リハビリ	
	★複合型・・・ 小規模多機能型居宅介護(泊まる・通う・訪問)	
	★住居型・・・ 認知症グループホーム、有料老人ホーム	
	★施設・・・ 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院	
社会参加	各公民館でのミニデイサービス、老人会、ゆいまーる事業	—— 各公民館へ
緊急時	地域包括支援センターへ	———— 地域包括支援センターへ
食事	「食」の自立支援事業、地域の配食サービス	———— 地域包括支援センターへ
住まい	住宅改修、福祉用具購入・貸与、施設入所	———— 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所へ
家族支援	認知症の人と家族の会、認知症疾患医療センター	———— P10~11相談先へ
その他	日常生活自立支援制度、結ネットワーク見守り隊	———— 村社会福祉協議会へ
	緊急通報システム、認知症高齢者等SOSネットワーク事業	—— 地域包括支援センターへ



# — 認知症中期の時期 —

いつ？

こんな症状が出てきたら

直近のことだけでなく、古い記憶もあいまいになってきます。身の回りのこと全般で介護やサポートが必要になります。

- 新しいことを覚えられない
- 慣れた場所で道に迷う
- 身近な人のことが分からなくなることがある
- 食事や着替え、入浴や排せつなど身の回りのことに支援が必要になってくる
- 昼夜逆転など、生活リズムが乱れてくる
- 服薬・金銭管理ができなくなる
- 慣れた道具の使い方が分からなくなる
- 時間や場所、季節が分からなくなる
- 尿失禁がしばしばある



対応

本人も周りの人も

できないことが多くありますが、責めたり否定したりせず、本人のペースを見守りましょう。本人も介護者もイライラしたり孤独感を感じたりしやすいので、積極的に制度を活用し、協力者を増やしましょう。

- 周囲に指摘されることが多くなり、自信を失いがちです。急かすとかえって逆効果です。本人ができることを長く保てるように支援しましょう。
- 認知症により、伝えたいことを言葉でうまく表現することができなくなってきます。周囲が本人の意思をできるだけ察して、必要な介護やサポートをしていくことが必要です。
- 介護者の負担も多くなります。介護者自身の健康管理に気を付け、休息や楽しみの時間も確保しましょう。
- 介護を一人で抱え込まずに、家族や地域包括支援センター、ケアマネジャー等と医療や介護について相談しましょう。
- 認知症の症状に困ったら、かかりつけ医のみでなく、認知症専門医の助言も受けましょう。

## これからのことを「相談したいさあ〜」

「私を抜きに私のことを決めないで」

大切なのは「何を決めたか」ではなく「どれだけ話し合っ一緒に決められたか」です！

このような話し合う機会を通して、家族にご本人のことをよりよく伝えることは将来、認知症が進行し、自分で自分のことを決定できなくなり、家族が難しい決断をしなければならなくなった時に、「以前、父はこういうことを言っていたから、きっとこうしてほしいに違いない」という具合に、様々な状況に応じてご本人の意思を推定する「助け」になります。

『命しるべ〜いのちの道標パンフレット〜』参考



### 『命しるべ〜いのちの道標パンフレット〜』のご紹介

高齢者ご本人が、お手伝いが必要な身体の状況となった時（介護を受ける時）や自分で自分自身のことを決めることが難しくなった時のために、事前に話し合うきっかけになるよう作成されたパンフレットです。

家族や親しい人、かかりつけ医やケアマネジャーなど、周りの方と話し合いながら、医療情報や希望など記入できるようにもなっています。

今帰仁村地域包括支援センターにて無料配布していますので、ご希望の方はご連絡下さい。

# — 認知症後期の時期 —

いつ?

こんな症状が出てきたら

言葉によるコミュニケーションが難しくなります。表情やしぐさで感情表現をすることも見られます。

- 運動機能が低下し、歩行や食事が困難になる
- 日常生活全般に介護が必要になる
- 食事への関心がなくなる
- 声かけや介護を拒否することがある
- 排泄がうまくできない
- 表情が乏しくなる
- ふらつきや転倒が多くなる
- 身近な人の顔が分からなくなる



対応

本人も周りの人も

アイコンタクトやスキンシップなど、非言語的コミュニケーションが大事になります。人生の最期をどう迎えるのかを本人の視点で考えていきましょう。

- 家族や支援者で終末期について、話合しましょう。
- 常に介護や医療が必要となってきます。急変時はいつでも相談できるように、ケアマネジャーやかかりつけ医と連絡を取り合っておきましょう。
- 在宅生活が難しくなってきたら、ケアマネジャーと住まいについて相談しましょう。
- 負担が大きいときは介護者もサービスを活用し、休息しましょう。



どこで?どんな?

こんなサービスがあります

常時介護が必要で、専門的な医療が必要です。必要な時はケアマネジャーや医療機関と相談しましょう。

受診	精神科医療機関（認知症専門医がいます）	P10～11相談先へ
介護サービス	居宅介護支援事業所	P10～11相談先へ
	★通う・・・介護サービス（デイサービス・デイケア）、認知症デイサービス、重度認知症デイケア	
	★泊る・・・ショートステイ	
	★訪問・・・訪問ヘルパー、訪問看護、訪問リハビリ	
	★複合型・・・小規模多機能型居宅介護（泊る・通う・訪問）	
	★住宅型・・・認知症グループホーム、有料老人ホーム	
★施設・・・特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院		
住まい	住宅改修、福祉用具購入・レンタル、施設入所	居宅介護支援事業所へ
家族支援	認知症の人と家族の会、認知症疾患医療センター	P10～11相談先へ
その他	成年後見人制度	地域包括支援センターへ

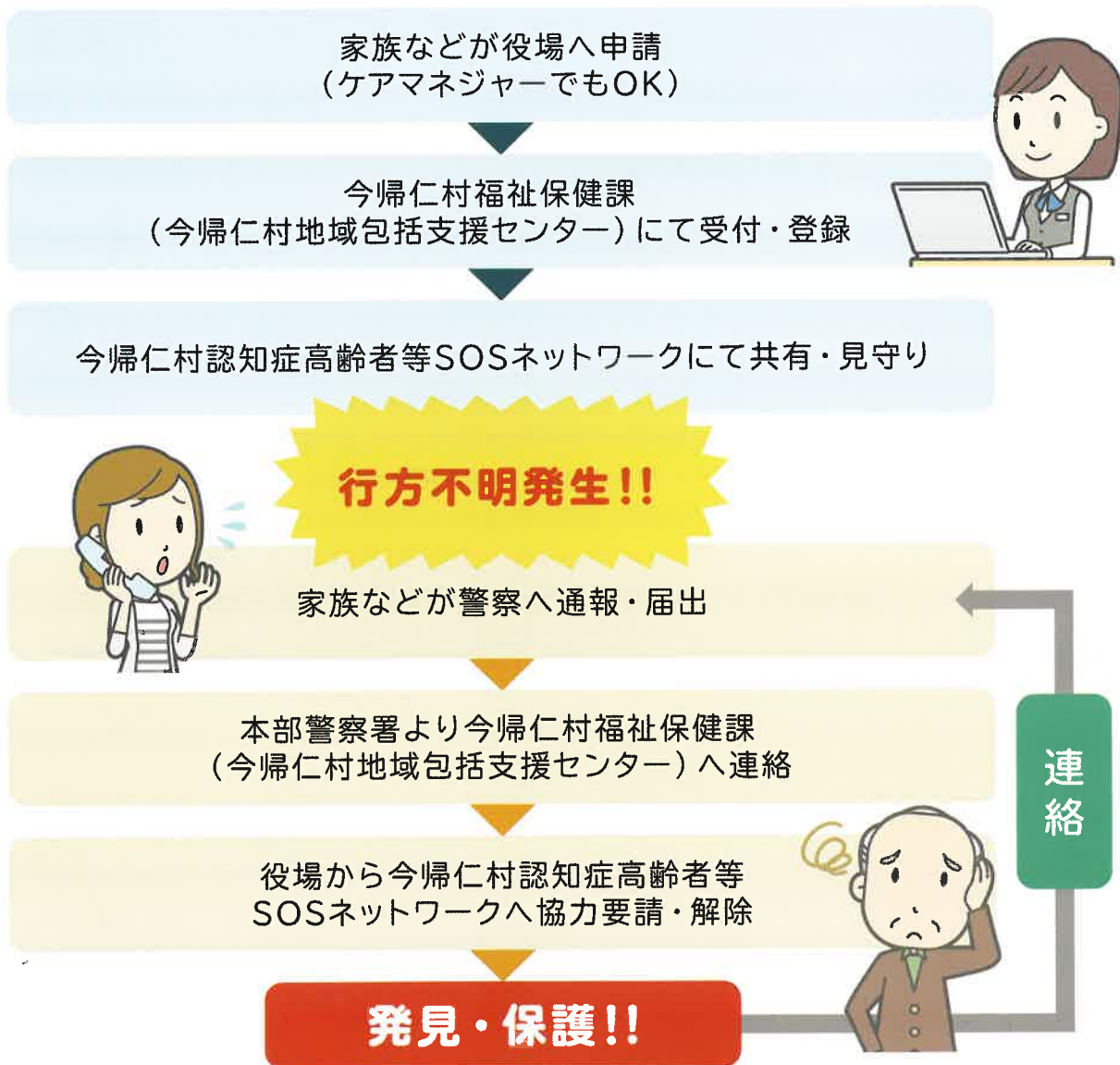


# 今帰仁村認知症高齢者等見守りSOSネットワーク

今帰仁村と各支援機関や本部警察署などが協力し、事前登録して頂いた方を日頃から見守り、認知症による徘徊や行方不明時の捜査・発見を迅速に行なうためのネットワークです。

登録しておくとお心です

## 事前登録の流れ



## 認知症グループホーム（認知症対応型共同生活介護）

らんらん



認知症の高齢者の方が、介護などの支援を受けながら共同で暮らす居住において、個々のプライバシーが重視されどのように生活するかを本人が決定できるように支援していきます。自然豊かな閑静な場所であり、心穏やかに生活できる環境です。

ほしくぼ  
わくがわ



（介護予防）認知症対応型共同生活介護とは・・・

認知症のある方が地域とのかかわりを持ちながら、小規模少人数の共同生活の場で食事の支度や掃除、洗濯、買い物など日常生活をスタッフと共に送ることにより、認知症の進行を遅らせたり、穏やかで落ち着いた生活を送れるように支援するところです。



# ～運転免許の自主返納～

体力が衰えたり、運転に自信がなくなったり、家族から「運転が心配」と言われたりしたときは、運転免許の自主返納について考えてみましょう。また、ご家族による代理申請も可能となりました。本人の認知機能の低下が見られたら、本人と話し合ってみましょう。



## 申請場所

### ■ 運転免許センター

沖縄県豊見城市字豊崎3-22  
TEL:098-851-1000

#### 受付時間

- 月曜日から金曜日  
(祝祭日、年末年始の休日を除く)
- 午前8時30分～午前11時45分
- 午後1時00分～午後4時45分

### ■ 安全運転学校 北部分校

名護市東江5丁目20番5号  
TEL:0980-53-1301

#### 受付時間

- 月曜日から金曜日  
(祝祭日、年末年始の休日を除く)
- 午前8時30分～午前11時45分
- 午後1時00分～午後4時45分

### ■ 本部警察署

本部町大浜850-1  
TEL:0980-47-4110

#### 受付時間

- 月曜日から金曜日  
(祝祭日、年末年始の休日を除く)
- 午前9時30分～午前11時45分
- 午後1時00分～午後4時45分

## 必要な書類



- 運転免許証
- 運転経歴証明書に使う写真1枚  
(縦3cm横2.4cm、無帽、正面、上三分身、無背景、6ヵ月以内の撮影、スナップ写真不可)
- 手数料¥1,100

### 【代理申請の場合】(上記のものに合わせて)

- 委任状兼確認書(本人の自筆)
- 来所できない理由を証明する書類(入院証明書や診断書、施設入所証明書など)
- 申請者と別居の家族が代理人となる場合は、申請者本人との続柄を確認できる書類(戸籍謄本など)
- 代理人の本人確認の書類提示(運転免許証、健康保険証など)
- 介護施設等の職員が代理人となる場合は、職員であることが確認できる身分証など

## 運転経歴証明書

運転免許を自主返納した方がその日から5年以内に交付申請をすることで受け取ることができます。車の運転はできませんが、身分証明書に使用でき、優遇措置のある事業所で提示すると、様々な割引やサービスが受けられます。

自主返納でお得なサービス

例) 沖縄バス協会4社・50%割引、タクシー(沖縄県ハイヤー・タクシー協会加盟社)・65歳以上の方10%割引、メガネ一番・東江メガネ・メガネスーパー・オンデーズ琉球・10%割引、JAおきなわSS・所有者同乗で1ℓ5円引き など

高齢ドライバーのみなさん、家族のみなさん、運転に不安を感じたら、お電話ください。  
※通話料は利用者負担となります。受付時間は平日の執務時間内となります。

まずは相談!!

安全運転相談ダイヤル

# 8 0 8 0



# 認知症かな？と思ったら。相談は無料です。

## 各申請・手続き・総合的な相談

### ●今帰仁村地域包括支援センター

今帰仁村役場内、福祉保健課にあります。ケアマネジャー・保健師・看護師・社会福祉士などが常時相談を受け付けています。介護保険や生活相談全般について、いつでもご相談ください。

今帰仁村役場 福祉保健課内 Tel:0980-51-5744

## 短期集中的なサポート（チーム員で訪問）

### ●初期集中支援チーム

認知症、またはその疑いのある方やそのご家族を医療・介護・福祉の専門職が訪問し、必要に応じて今後の生活に関するアドバイスや必要時には医療機関の受診のサポートを行ないます。

**支援の流れ** 地域包括支援センターへ相談 → チーム員訪問 → サービスや受診の調整 → 関係機関へのつなぎをサポート

※もとぶ記念病院と地域包括支援センターの共同チームです。

## 専門的な相談

### ●認知症疾患医療センター

相談・連携の窓口となる県の指定を受けた医療機関です。認知症についての専門医療を受けられます。

**相談窓口** 本人・家族、医療・福祉関係の方など、気軽にご相談頂けます。事前面談は家族のみでもOK。

**流れ** 電話相談 → 事前面談 → 診察・検査 → 診断 → かかりつけ医



宮里病院（北部圏域）

〒905-0006 名護市宇字茂佐1763番地2 / Tel:0980-53-7772

## まずは受診

### 【早期発見・受診によるメリット】

認知症の原因になる病気は様々です。早期に発見して、適切な治療を始めることで改善が期待できるものがあります。また、進行を遅らせたり、症状を軽減させられます。

### ●北部管内医療機関

- ・もとぶ記念病院 Tel: 0980-51-7007
- ・メンタルクリニックやんばる Tel: 0980-52-4556
- ・宮里病院 Tel: 0980-53-7771

## 日常生活自立支援事業・結ネットワーク

### ● 今帰仁村社会福祉協議会

軽度の認知症の方が利用できる金銭管理サービスや地域の見守り隊による安否確認等の相談ができます。

Tel:0980-56-4742

## 介護サービスの相談は地域のケアマネジャーさん(介護支援専門員)へ

### ● 居宅介護支援事業所 ※村内

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| ・なきじん指定居宅介護支援事業所   | Tel: 0980-56-1111 |
| ・乙羽園 指定居宅介護支援事業所   | Tel: 0980-56-3000 |
| ・今帰仁社協 指定居宅介護支援事業所 | Tel: 0980-56-4102 |
| ・やましろ 指定居宅介護支援事業所  | Tel: 0980-56-4123 |

## その他

### ● 認知症の人と家族の会

事務局(宮里病院内)

Tel:0980-53-7772

北部地区会「なごみの会」

場所:北部保健所 / Tel:0980-52-2734 / 13:00~15:00【毎月第3水曜】



### ● 若年性認知症コールセンター

Tel:0800-100-2707(フリーダイヤル) / 10:00~15:00【月~土】※年末年始祝祭日除く

### ● 沖縄県若年性認知症支援推進事業

新オレンジサポート室 Tel:098-943-4085 / 9:00~17:00【月~金】

※土日祝日、年末年始(12/28~1/3)は休み

### ● タピックCAFE(認知症カフェ) 本人もご家族も利用できます。

宮里病院 認知症疾患医療センター外来入り口側 Tel:0980-53-7772

場所:ラ・ベジブル名護(1Fデイサービスやんばる) / 時間:13:00~15:00 / 利用料:¥100

※開催日についてはお問合わせください。



### 【障害者自立支援医療について】

認知症専門医を受診したら、障害者自立支援医療の手続きを役場で行うことで、通院にかかる医療費(精神科)の自己負担分を公費で負担する制度を利用できます。通院先の認知症デイケアや訪問看護も同様に利用できます。

# 家族がつくった「認知症・早期発見のめやす」

## ●もの忘れがひどい

- 1. 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- 2. 同じことを何度も言う・問う・する
- 3. しまい忘れ置き忘れが増えいつも探し物をしている
- 4. 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

## ●判断・理解力が衰える

- 5. 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 6. 新しいことが覚えられない
- 7. 話のつじつまが合わない
- 8. テレビ番組の内容が理解できなくなった

## ●時間・場所がわからない

- 9. 約束の日時や場所を間違えるようになる
- 10. 慣れた道でも迷うことがある

## ●人柄が変わる

- 11. 些細なことで怒りっぽくなった
- 12. 周りへの気遣いがなくなり頑固になった
- 13. 自分の失敗を人のせいにする
- 14. 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

## ●不安感が強い

- 15. ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- 16. 外出時、持ち物を何度も確かめる
- 17. 「頭が変になった」と本人が訴える

## ●意欲がなくなる

- 18. 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- 19. 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- 20. ふさぎ込んで何をするのも億劫がり、嫌がる

認知症の疾患について詳しいパンフレットもあります。地域包括支援センターにて配布中！



なるほど！認知症ってこんな病気なんだね～

## 認知症の人との接し方10か条

1. ゆっくり1つずつ簡潔に伝えましょう
2. 余裕を持って穏やかな気持ちで対応しましょう
3. 思い出させない、間違いを正さないようにしましょう
4. 介護者もがんばりすぎない、家族だけで抱え込まないようにしましょう
5. 本人の視界に入ったところで、声をかけましょう
6. 信頼関係を大切にしましょう
7. しっかりと命令しない
8. 自尊心を大切に、敬意を払うように接しましょう
9. 受け入れて共感しましょう
10. 行動パターンを観察し、事故防止や排せつケアなど早めにフォローしましょう

